

# たなごころ



社会福祉・心理よろず相談センター

## センターについて

お子様のこと、子育てのこと、  
なにかお困りのことはありませんか？

当センター「たなごころ」では

保育所等訪問支援

障がい児相談支援 を実施しています。

園・学校でうまくいっていない  
集団行動が苦手  
言葉が遅れると言われた  
友だちとのトラブルが多い  
発達障がいかも…？



“ちょっと気になる” …  
そんなお悩みを ぜひお聞かせください。

社会福祉士や臨床心理士、保育士といった資格  
を持ったスタッフがお手伝いいたします。



## たなごころの想い

あせらず・あわてず・あきらめず

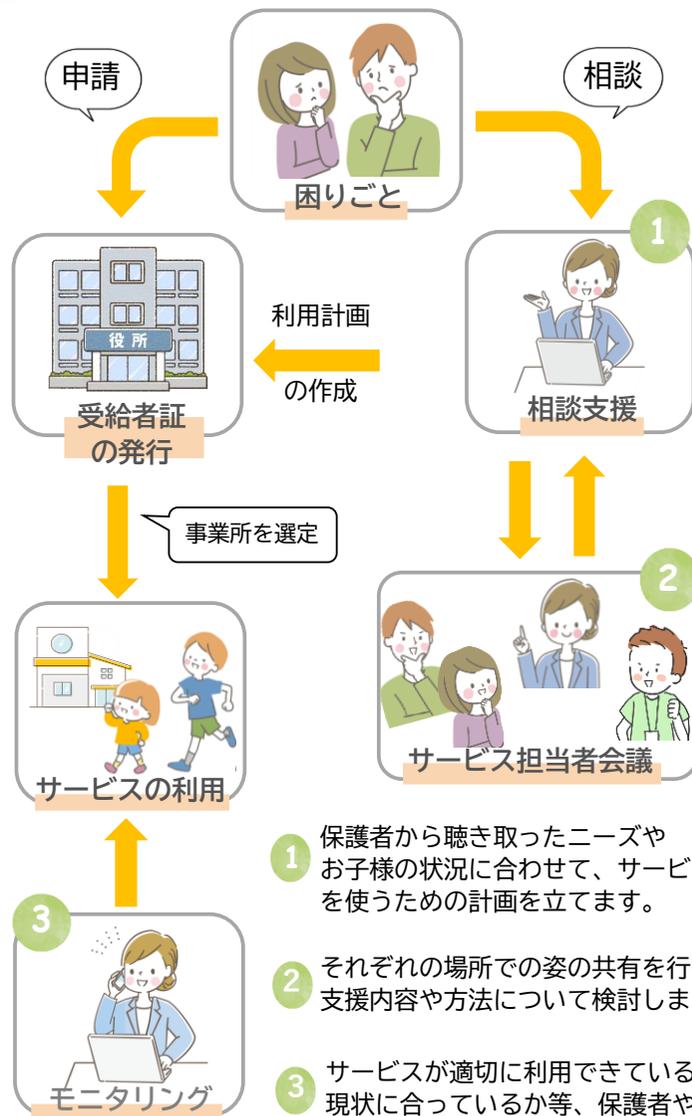
誰もが自分らしく夢と希望を持ち  
生きる力を育むことのできる  
『明るく』『助け合える』  
社会であるために



## 障がい児相談支援

お子様の発達や子育てに関することなど、  
困っていることをお聞かせください。  
お子様に合った支援や専門機関をご紹介します、  
お悩みの事について、どうしたら解決に近づける  
のかを一緒に考えさせていただきます。

## 相談支援の流れ



- 1 保護者から聴き取ったニーズや  
お子様の状況に合わせて、サービス  
を使うための計画を立てます。
- 2 それぞれの場所での姿の共有を行い、  
支援内容や方法について検討します。
- 3 サービスが適切に利用できているか、  
現状に合っているか等、保護者や  
関係機関にお話を伺います。

## センターのご案内

名称	一般社団法人たなごころ 社会福祉・心理よろず相談センター
代表	畠中 義久
所在地	〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-15-11 第三大朋マンション306号室
電話番号	080-2462-2278
FAX番号	06-7708-5180
開所時間	月～金曜日 10:00～19:00
対象地域	大阪府下が中心ですが、遠方の方も一度 ご相談ください。



詳しくはHPでもご覧いただけます。

<https://www.tanagokoro-yorozu.org/>

メールで相談も  
できるよ



お気軽にお電話ください

080-2462-2278

# 保育所等訪問支援について

園や学校といった施設等に専門知識を持った支援員が訪問し、保護者と施設との連携をもとに、お子様が園や学校での生活を楽しく送れるように支援します。

## 支援の内容

### 観察

学校や施設に訪問してお子様の様子を観察し、困っていることやその原因について分析します。



### 直接支援

学校や施設にて、お子様の困り事に対して直接働きかけます。



### 間接支援

訪問先のスタッフや職員の方とお子様について情報共有し、対応のご提案をします。



### 家庭連携

保護者等に対して、支援のご報告をします。お子様の成長を共有できるので安心感につながります。



保育所等訪問支援の最大の目的は、保護者と訪問先の距離が縮まり、**お子様の成長・発達を共に喜び合えるようになること。**そして、お子様が**安心・安全に過ごせる環境**になり、**保育や教育の効果を最大限に引き出すこと**です。



## 保育所以外も訪問できます！

事業の名前から勘違いされやすいですが、訪問できるのは保育所だけではありません。以下のような、『**集団生活の場**』に訪問が可能です。

- 保育所、幼稚園、認定こども園
- 小学校、中学校、高等学校、支援学校、フリースクール、放課後等児童クラブ（学童）
- 放課後等デイサービス、児童発達支援
- 乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設



## 保育所等訪問支援のメリット

- 1** 保育所など集団場面での支援なので発達上の課題に気づきやすい
- 2** お子様1人1人に合ったオーダーメイドの専門的支援ができる
- 3** 通所支援で身につけたことを集団場面でも活かすことができる
- 4** 進級・進学の際実効性のある支援方法を確実に引き継ぐことができる
- 5** 訪問先の職員と保護者間の関係調整ができる

保育所等訪問支援は、子育て支援施策や教育の現場に入り込んで行う『**アウトリーチ型**』の発達支援事業です。保護者からの依頼に基づく事業であり、保護者の権利保障として提供されます。

## 利用できる時間や頻度

訪問の時間や1日の支援時間、月の利用頻度についての規定は特にございません。訪問先機関の都合とお子様の状況を照らし合わせて調整を行い、決定します。

以下は、標準的な例です。

### ● 訪問の時間 >>> ニーズに合わせて調整

たとえば、以下のようなニーズが挙げられます。

- 保育園でのお友だちとの関わり方を支援してほしい
- 小学校の算数の時間を見てほしい
- 支援学校か支援学級かで迷っているので、園での様子が知りたい
- 就学・進学がスムーズにできるようにサポートしてほしい
- 児童発達支援/放デイでできるようになったことを、園や学校でも活かしたい

### ● 支援時間 >>> おおよそ1~2時間程度

### ● 利用の頻度 >>> 月2回~9回まで

国では概ね2週間に1回程度の訪問支援を想定しています。集団生活において不適応が生じている場合や、緊急性の高い場合は、月に9日までの利用が可能です。通年的な利用のほか、進級や学期の変わり目、長期休暇後、行事が控えている時期への集中的な利用の需要も高いです。

## ご利用にかかる費用

受給者証の利用により、1割負担となります。世帯所得により、以下のように負担の上限額が決まっています。安心してご利用ください。

世帯所得	上限金額
非課税世帯 (生活保護や低所得の場合)	0円
世帯所得年収約890万円まで	4,600円
世帯所得年収約890万以上	37,200円



\*3~5歳児クラスのお子様の場合、国における幼児教育・保育の無償化により、利用料はかかりません。